#### 2012 年度 大阪大学 (理系)

2012 大阪大学 (理系)

- $oxed{1}$  a>0 とする.  $C_1$  を曲線  $x^2+rac{y^2}{a^2}=1$ ,  $C_2$  を直線 y=2ax-3a とする. このとき,以下の問いに答えよ.
  - (1) 点 P が  $C_1$  上を動き、点 Q が  $C_2$  上を動くとき、線分 PQ の長さの最小値を f(a) とする、f(a) を a を 用いて表せ、
  - (2) 極限値  $\lim_{a\to\infty} f(a)$  を求めよ.
- $\mathbf{2}$  次の 2 つの条件 (i), (ii) を満たす自然数 n について考える.
  - (i) n は素数ではない.
  - (ii) l, m を 1 でもない n でもない n の正の約数とすると必ず

 $|l-m| \leq 2$ 

である.

このとき,以下の問いに答えよ.

- (1) n が偶数のとき、(i)、(ii) をみたす n をすべて求めよ.
- (2) n が 7 の倍数のとき、(i)、(ii) をみたす n をすべて求めよ.
- (3)  $2 \le n \le 1000$  の範囲で, (i), (ii) をみたす n をすべて求めよ.
- **3** xyz 空間に 3 点 O(0,0,0), A(1,0,1),  $B(0,\sqrt{3},1)$  がある。平面 z=0 に含まれ,中心が O,半径が 1 の円を W とする。点 P が線分 OA 上を,点 Q が円 W の周および内部を動くとき, $\overrightarrow{OR} = \overrightarrow{OP} + \overrightarrow{OQ}$  を みたす点 R 全体がつくる立体を  $V_A$  とおく。同様に点 P が線分 OB 上を,点 Q が円 W の周および内部を 動くとき, $\overrightarrow{OR} = \overrightarrow{OP} + \overrightarrow{OQ}$  をみたす点 R 全体がつくる立体を  $V_B$  とおく。さらに, $V_A$  と  $V_B$  の重なり合う部分を V とする。このとき,以下の問いに答えよ。
  - (1) 平面  $z = \cos \theta$   $\left(0 \le \theta \le \frac{\pi}{2}\right)$  による立体 V の切り口の面積を  $\theta$  を用いて表せ
  - (2) 立体 V の体積を求めよ.

## 2012年度 大阪大学 (理系) (1)の解答)

2012 阪大理系

—解答例—

1

(1)  $P(\cos \theta, a \sin \theta)$   $(0 \le \theta \le 2\pi)$  とおく.

点 P から直線  $C_2$  へ下ろした垂線の長さを d (= PQ) とすると,

$$\begin{split} d &= \frac{|2a\cos\theta - a\sin\theta - 3a|}{\sqrt{4a^2 + 1}} \\ &= \frac{|\sqrt{5}\,a\sin(\theta + \alpha) - 3a|}{\sqrt{4a^2 + 1}} = \frac{|a|\sqrt{5}\,\sin(\theta + \alpha) - 3|}{\sqrt{4a^2 + 1}} \quad (\because a > 0) \\ \text{ここで} \quad |\sin(\theta + \alpha)| &\leq 1 \quad \text{より} \\ \sin(\theta + \alpha) &= 1 \text{ のとき, } d \text{ は最小となり} \end{split}$$

$$f(a)=rac{(3-\sqrt{5})\,a}{\sqrt{4a^2+1}}\cdots$$
(答)

(2)

(1) より

$$\lim_{a \to \infty} f(a) = \lim_{a \to \infty} \frac{(3 - \sqrt{5}) a}{\sqrt{4a^2 + 1}}$$

$$= \lim_{a \to \infty} \frac{3 - \sqrt{5}}{\sqrt{4 + \frac{1}{a^2}}} = \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \cdots (5)$$

### 2012年度 大阪大学 (理系) (2)の解答)

2012 阪大理系

--解答例--

# 2

(1)  $l \ge m$  ( $\ge 2$ ) とおいて一般性は失われない.

$$\left\{ \begin{array}{ll} (\mathcal{T}) \ l-m=0 & \text{のとき}, & n=4 & (l=m=2) \\ (\mathcal{T}) \ l-m=1 & \text{のとき}, & m=2, \ l=3 & \therefore n=3 \cdot 2=6 \\ (\mathcal{P}) \ l-m=2 & \text{のとき}, & m=2, \ l=4 & \therefore n=8 \end{array} \right.$$

(i), (ii) の条件を見たすnは(ア) $\sim$ (ウ) の場合以外にはない.

$$\therefore n=4, 6, 8\cdots$$
(答)

- (2) n=7k (k は正の整数) の形になり、条件 (i), (ii) を満たすのは l=7 のとき、m=5, 6, 7 の場合があり、 $m=6=2\times3$  の場合は条件をみたさない、m=5, 7 のとき、n=35, 49 となり、それ以外はない。また、 $k\geq 2$  なる偶数のときは、(ii) を満たさない.  $\therefore n=35$ ,  $49\cdots$ (答)
- (3) n が偶数の場合は、n=4, 6, 8 であり、奇数で素数でないものを考える。  $2 \le 2p-1 \le 1000$  を満たす正の整数 p は、 $\frac{3}{2} \le p \le \frac{1001}{2}$  より、 $2 \le p \le 500$  (ア)  $n=(2p-1)^2$  のとき、 $2 \le (2p-1)^2 \le 1000$  となり、 $\frac{\sqrt{2}+1}{2} \le p \le \frac{10\sqrt{10}+1}{2}$  であり  $2 \le p \le 16$  よって、p=2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16 のときを調べて n=9, 25, 49, 121, 169, 225, 289, 361, 441, 529, 625, 729, 841, 961 で条件をみたすのは

$$n = 9, 25, 49, 121, 169, 289, 361, 529, 841, 961$$

(イ) 
$$n=(2p+1)(2p-1)$$
 のとき、 $2 \le 4p^2-1 \le 1000 \Longleftrightarrow \frac{\sqrt{3}}{2} \le p\frac{\sqrt{1001}}{2}$  であることから、 $1 \le p \le 15$ 

 $p=1, 2, 3, 4, \cdots, 15$  の場合を調べて

 $n=3,\ 15,\ 35,\ 63,\ 99,\ 143,\ 195,\ 255,\ 323,\ 399,\ 483,\ 575,\ 675,\ 783,\ 899$  の場合があるが、条件をみたすのは

 $n=15,\ 35,\ 143,\ 323,\ 899$  の場合である. 以上より、求める n は

n = 4, 6, 8, 9, 15, 25, 35, 49, 121, 143, 169, 289323, 361, 529, 841, 899, 961 · · · (答)

### 2012 年度 大阪大学 (理系) (3の解答)

2012 阪大理系

 $(x - \sqrt{3}\cos\theta)^2 = 1$ 

 $(\cos\theta)^2 + y^2 = 1$ 

 $(\cos\theta,0)$ 

 $(0,\sqrt{3}\cos\theta)$ 

-解答例—

3

線分 OA 上の点 P を s(1,0,1) (0  $\leq s \leq 1$ ) とし,Q を (X, Y, 0) とおく

 $R(x, y, z) \ge U \tau$ 

$$\overrightarrow{OR} = (s, 0, s) + (X, Y, 0) = (s + X, Y, s) \cdots \bigcirc$$

線分 OB 上の点 P を  $t(0,\sqrt{3},1)$   $(0 \le t \le 1)$  とし,Q を

(u,v,0) とおくと

$$\overrightarrow{OR} = (0, \sqrt{3}t, t) + (u, v, 0) = (u, \sqrt{3}t + v, t) \cdots \textcircled{2}$$

$$X^2 + Y^2 \le 1$$
,  $u^2 + v^2 \le 1$  と① ,② ກຳ స్

$$\begin{cases} (x-s)^2 + y^2 \le 1 & (z=s) \cdots 3 \\ (z+s)^2 \le 1 & (z=s) & (z=s) \end{cases}$$

$$x^2 + (y - \sqrt{3}t)^2 \le 1 \quad (z = t) \cdots$$

 $(x-\cos\theta)^2+y^2\leq 1$ ,  $x^2+(y-\sqrt{3}\cos\theta)^2\leq 1$  であり、図の斜線部分になる.

図におけるそれぞれの点を、A、B、P、Q、Mとおくとき (M は AB、PQ の中点)

$$AB = \sqrt{\cos^2 \theta + 3\cos^2 \theta} = 2\cos\theta$$
 であるから

$$\mathrm{AM} = \cos \theta$$
 であり、また、 $\mathrm{PM} = \mathrm{QM} = \sqrt{1 - \cos^2 \theta} = \sin \theta$   $\left(\because 0 \le \theta \le \frac{\pi}{2}\right)$  となる.

斜線部分の面積をSとおくと、 $\angle PAM = \angle QAM = \theta$  であるから

$$S = 2\left(\frac{1}{2} \times 1^2 \times 2\theta - 2\sin\theta\cos\theta\right) + 2\sin\theta\cos\theta$$
$$= 2\theta - 2\sin\theta\cos\theta = \mathbf{2}\theta - \sin\mathbf{2}\theta\cdots$$
(答)

(2) 求める立体の体積 V は

$$V = \int_0^1 S \, dz = \int_0^1 (2\theta - \sin 2\theta) \, dz, \quad dz = -\sin \theta \, d\theta, \quad \frac{z \mid 0 \rightarrow 1}{\theta \mid \frac{\pi}{2} \rightarrow 0}$$
 であるから 
$$V = \int_{\frac{\pi}{2}}^0 (2\theta - \sin 2\theta) (-\sin \theta) \, d\theta = 2 \int_0^{\frac{\pi}{2}} (\theta \sin \theta - \sin^2 \theta \cos \theta) \, d\theta$$

ここで

$$\int_{0}^{\frac{\pi}{2}} \theta \sin \theta \, d\theta = \left[ \theta(-\cos \theta) \right]_{0}^{\frac{\pi}{2}} + \int_{0}^{\frac{\pi}{2}} \cos \theta \, d\theta = \left[ \sin \theta \right]_{0}^{\frac{\pi}{2}} = 1$$

$$\int_{0}^{\frac{\pi}{2}} \sin^{2} \theta \cos \theta \, d\theta = \left[ \frac{1}{3} \sin^{3} \theta \right]_{0}^{\frac{\pi}{2}} = \frac{1}{3} \quad \text{であるから}$$

$$V = 2 \left( 1 - \frac{1}{3} \right) = \frac{4}{3} \cdots (答)$$